

常磐文藝

超越

生田 耕人

私はあの世界に眞の美が見えなかつた
私は智慧の翼で
今の世界へとんできた
その時私の友人は云つた
君は生を否定した
併し私は悦んだ
私は生を肯定した
そして私は此の今の世界から
前の世界を見た時に
何と美つくりしい世界であらう
美つくりしい花が——薔薇の花が
生死を越えて咲いてゐる

無の花

薔薇の花は美くしい
女のためたさ
子供の愛らしさ
併し空にかゝる太陽も

□募集 文藝其他一般投稿を歓迎します

汝さへも
汝を去つて行くのである
その時汝は何を愛するか
無——私は只これだけを愛すであらう
何にもまして愛すであらう
なせなれば無は
凡ての美つくりしい物から
咲いた
花だから——

國際寫真情報

世界の復興

著本致し候

本號は曩に多大の好評を博したる關東大震災の姉妹篇として世界歴史上最も著名なる大地震の災害實況寫真とその物語及び帝都復興の有様を掲載せるものにして而も同號は震災殉卒の際と異り大に日頃の面目を發揮したるものなれば之亦類似の書報を壓倒して絶大の好評を博すべく本朝來配本中ず

價一部 賣金一圓二
十錢年極一部一圓
新規御申込の方は
磐城代理部
電話(二一九番)
電話(五六四番)

製材機械、人魚印丸鋸

自動注油ノタル、プーリー在庫
ゴムベルト、バラタベルト

平町月見町

佐藤鐵工所
電話三六二番

東京行大工

世名募集

御希望の方は至急下記迄詳細御問合を乞ふ

申込所

平町南町(郡役所前通)

石山精華堂

湯木町字八仙

渡邊九郎兵衛

毛糸

經濟な御手編物は
新時代の要求なり

品質優等廉賣で誇るは
弊店毛糸部の特徴

今年流行色を集めたる
弊店へ是非御用命を

平町三丁目(電話三八番)

三井吳服店

毛糸部

株式買中値

左記の値段は日本の標準値に付御用の節は御問合願候

磐城銀行	五〇〇	五七〇
平銀行	五〇〇	六八〇
磐越銀行	一一五	一〇五
磐城實業	三〇〇	二七〇
田村實業	一一五	一二五
四倉銀行	一一五	一二五
農工銀行	二〇〇	二五五
同新	一五〇	一九〇
白七銀行	五〇〇	五三〇
同新	一一五	一四五
七七銀新	一一五	九五
郡山電氣	五〇〇	三九〇
同新	二五〇	一八〇
只見川電	一一五	六三
植田水電	一一五	一三五
好間水電	一一五	一三五
磐城建物	一一五	四七
磐城製菓	二〇〇	六五
平信託	五〇〇	四九〇
磐城勸業	一一五	一三五
磐城物産	三〇〇	二五〇
平製水	二〇〇	二二〇
好間軌道	五〇〇	三五〇
小名商學	一一五	……
小名水産	一一五	……
小田炭礦	二五〇	五五
磐城炭礦	五〇〇	三七五
同新	二二五	一五〇
磐城セメ	五〇〇	九六〇
同新	一一五	三四〇

丸登株式店
平町田町電話三三三番
川添房二郎

價定 一部金貳錢 月極
ニ限リ一ヶ月卅錢

料告廣 五號十三字詰
一行五十錢

日刊休 日曜 大祭
祝日の翌日

所刷印 福島縣石城郡平町
田町十六番地
磐城新聞社印刷部

發行兼 川崎文治
印刷人

所行發 福島縣石城郡平町
字長橋町卅五番地
常磐毎日新聞社

(一) 可觀物便郵郵三第日十月一十年二十百大



刊夕日一月二十

私の川崎論

福島民報 山田磐磨 (四)

前回に於て川崎が突撃的であり、彈發的だと言いた
事實川崎は、突撃的であり
彈發的である「突撃と彈發」
は川崎の表現化とも云い度
い位である、其れは權威を
擁護する時のみの事象では
無い、彼れの全生活が突進
と彈力一杯に満たされて
ゐるのである。ゴオリキイ
の「オルロフ」といふ小説
の中の、オルロフといふ主
人公は斯う叫んでゐる『た
れは精神は燃れてゐる、充

分に力を奮ふべき場所が欲
しいものだ。たれの中には
非常な力があるやうだ。若
しもコレラ病が人間、而も
巨人に成つて來ても、たれ
は驚かずに立向つてやる。
おれは言つてやる、死ぬま
で闘はう、たれが力なら、
たれも力だ。孰れが強いか
試して見やう」と川崎の意
力も恰度斯うした熱烈な彈
方を有つてゐる。であるか
ら、彼れが或る確信を有ち
此處ぞと指した處は、他の
何者の反對や誘惑にも耳を
藉さず突進する、此處にも
世間からの批難と不満がた
こつた、けれども又彼れの
(續)

山崎、諸橋兩氏は 昨日辭表を出した

高壓任命を非とする某氏談 組員昇進説益々勢を占む

突然小頭に任命されて頗る迷惑を感じた山崎清三、諸橋守次の兩氏が今後如何なる行動に出すべきや且つ平消防組が此問題に對する解決策として如何に妥當なる方法を講ずべきであるかは注目の焦點となつて居たが、昨聞する處に依れば昨日兩氏は井上組頭の手元で辭表を提出した由である、右に關して某氏は「山崎、諸橋の兩君を突然平署に呼び出して辭令を付き突けた行爲は甚だしく非常識である」と云はねばなるまい、若し兩君が眞に小頭としての適任者であるとすれば何故辭令交付以前に兩君の諒解を得なかつたのであるか、餘りに高壓的な手段に訴へた事は平消防組の爲に惜まねばならぬ、兩君は此點に不満を抱いて辭表を提出するに至つたのであらうが無理もない事である」と語つた。

財界不振の爲め 歳末の瀬戸際に悩む

本町通りに戸締めの商店 各銀行が一層貸出を警戒

石城郡に於ける財界殊に炭礦界の不振は商工業界に著しき打撃を來さしめ且つ農家は米價の安い爲めに不景氣一層甚だしく

一度消防手にして

酒井君伍長に

住吉屋支店若主人酒井清君の伍長就任は確かに其人を得た觀がある、適材であると思はる事に對しては何人も異議がなさそうである、然れ共組以外から物色した

常磐片々

山崎、諸橋兩氏の辭表提出は既定の事實
要するに平消防組は辭令の紙二枚を無駄にした
歳末の瀬戸際に紙二枚でも勿体ない
本年平地方の初雪。萬象蕭然矣
夜來の寒氣凜烈正に骨に徹す、粉ふ方なき師走の景狀
大平縣議はその時起立した

とする様にすればよかつたのである。消防手が一團となる時其處には他の団体等とは全々異つた氣質が横溢する、此氣質を充分に呑み込めないで操縦の上に非常に骨が折れる、此故に組の内部に精通しない者の幹部就任を非とするものであつて酒井君等も短期間でよいから一度は消防手として苦勞する事が一層伍長の權威あらしむる所以であつたとの意見が多い

商業訓

寫真版として 稅務署長寄贈

過般來平した新井石禪師揮毫の左記商業訓を持贈稅務署長が寫真製版して各商店其他に寄贈したが原本は鹽屋本店に處藏せる由

- 一、見世の繁昌より御客の便宜をはかれ
- 一、利益よりも信用を大切にせよ
- 一、賣手の心にならず買手の心になれ
- 一、商品は賣らずとも親切を賣れ

爆音凄く自動車隊

三日夜湯本温泉に宿營 千葉自動車隊は二日午前八時出發、同日土浦に宿營翌

通りを中村、仙臺に向へ更に

眞性慾問題

ナス位の形と大きさを持つて居て、平素は稍前かよみになつて居る、若し子宮を女性の中心とすればは少々前屈みがいといふシンボルになる。妊娠すれば胎兒を包み込むで月と共にゴム風船の如くに膨張し、婦人の腹一杯に擴がる不思議な力を持つた袋である(續)

平校唱歌會

平第一學校唱歌會は昨日午前九時から同校講堂にて開會遠藤訓導の指導宜しきを得て各兒童何れも喝采を博した

穀物検査成績 穀物検査支處にて去月中取扱つた移出米は千七百三三俵である

平町に初雪

寒さが厳しい 平町は今朝戸外の水溜りに

平驛の滞貨は少い

本縣では過般來震災の爲め鐵道輸送上に大影響を及ぼして居るので善後策の研究中だが平驛に滞貨最も少く平常と大差なく廿八日現在木材廿九噸、セメント卅五噸、木炭廿一噸である

平裁判だより

●殺人未遂 石城郡川部村大字立澤字鍋坂坑夫安達郡生れ菅野彌三〇が去

不平受付

昨日の秋刀魚 秋刀魚は昨日小名濱にて二千尾、中津川四萬千六百十七尾の水揚げを見た

明日休刊

町通り以外の適當な場所に移轉してはどうでせうか (實見生)

平町人事

△出生 堀満正長女好江
△婚姻 石城郡泉村大字瀧尻字上谷地玉橋忠男(二七)才小路玉橋(二〇)才
△立町 山田たま(二七)才